

県内景況、厳しい状況続く

人件費上昇、人手不足、一部増税後の影響あり

～景況DI値前月比47.4ポイント低下、前年同月比39.4ポイント低下～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 12月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI値前月比で21.0ポイント低下、前年同月比でも26.3ポイント低下。非製造業では、前月比で26.3ポイント低下、前年同月比でも47.4ポイント低下。

在庫数量 製造業では、DI値前月比で5.2ポイント低下、前年同月比で15.8ポイント低下。非製造業では、前月比、前年同月比ともに16.7ポイント低下。

販売（受注）価格 製造業では、DI値前月比で5.3ポイント低下、前年同月比でも5.2ポイント低下。非製造業では、DI値前月比、前年同月比ともに同水準。

取引条件 製造業では、DI値前月比、前年同月比ともに同水準。非製造業では、前月比で5.3ポイント低下、前年同月比では10.5ポイント低下。

収益状況 製造業では、DI値前月比で42.1ポイント低下、前年同月比でも31.5ポイント低下。非製造業では、前月比で31.6ポイント低下、前年同月比でも36.9ポイント低下。

資金繰り 製造業では、DI値前月比、前年同月比ともに36.8ポイント低下。非製造業では、前月比、前年同月比ともに26.3ポイント低下。

雇用人員 製造業では、DI値前月比で5.2ポイント上昇、前年同月比でも10.6ポイント上昇。非製造業では、前月比で5.2ポイント低下、前年同月比でも10.5ポイント低下。

景況 製造業では、DI値前月比で52.6ポイント低下、前年同月比でも47.4ポイント低下。非製造業では、前月比で42.1ポイント低下、前年同月比でも31.6ポイント低下。

県内中小企業の景況は、全業種景況DI値は、前月比で47.4ポイント低下、前年同月比でも39.4ポイント低下となった。製造業では、一般食料品、繊維・同製品関連で、人件費上昇等により収益状況が悪化している。また一般機器、電気機器製造業では米中貿易摩擦の影響が見られた。非製造業では、旅館・観光、建設関連で、引き続き人手不足は深刻化しており、商店街、サービス業の一部では消費税増税後の影響がなお続いている。県内の景況は、なお厳しい状況が続いており、先行きも不透明。

2. 企業倒産（㈱帝国データバンク調べ）

12月の全国倒産は、件数708件と、4カ月連続の前年同月比増加、負債総額1,596億2,200万円（負債総額1,000万円以上）で、2カ月連続の前年同月比増加となった。負債規模別では、負債5,000万円未満の倒産は420件、構成比は59.3%を占めた。

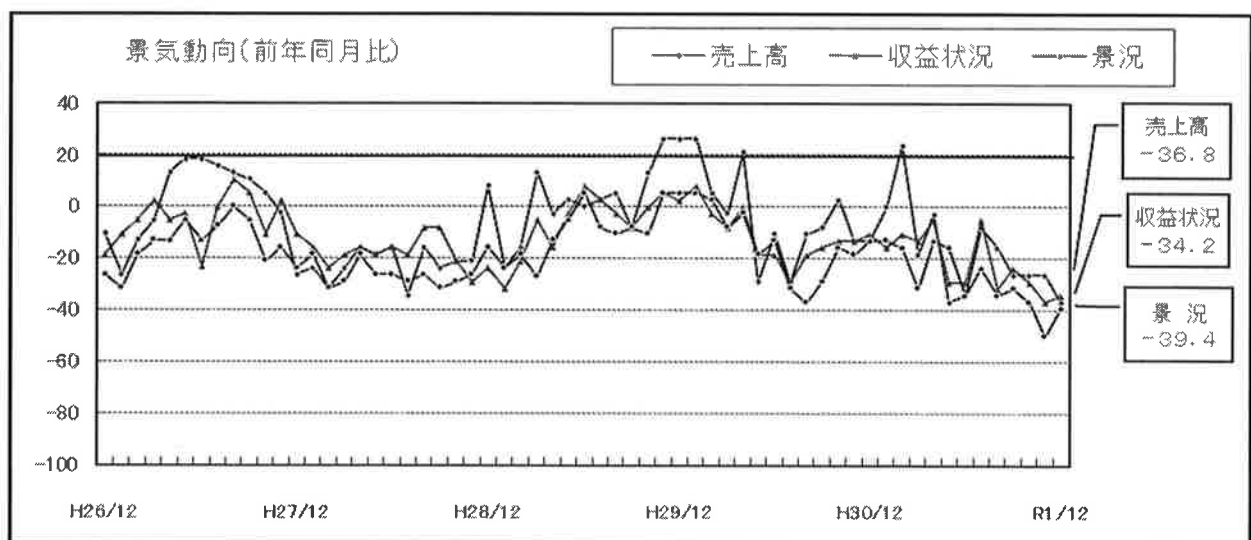
一方、12月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数0件（前月2件）、負債総額は0円（前月5,500万円）となった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報11月分」）

鳥取県の11月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.70倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.57倍）で、前月を0.01ポイント上回った。各所別有効求人倍率では、鳥取所1.51倍、米子所2.02倍、倉吉所2.31倍となった。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.78倍（季節調整値）で、前月を0.14ポイント上回った。

新規求人数は、前年同月比3.9%増加し、有効求人数は3.2%の増加となった。産業別に前年同月で比較すると、建設業（12.2%）、宿泊業・飲食サービス業（8.1%）、医療・福祉（19.9%）、サービス業（45.3%）、公務・その他（31.1%）等で増加した。

新規求職者数は、前年同月比8.1%減少し、有効求職者数は1.9%増加した。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.98倍で、前年同月を0.13ポイント下回った。新規求人数は12.3%増加した。



1 2 月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	21.1%	42.1%	-21.0 0.0	15.8%	42.1%	-26.3 -10.6	18.4%	42.1%	-23.7 -5.3
(2) 在庫数量	5.3%	10.5%	-5.2 5.3	0.0%	16.7%	-16.7 0.0	3.2%	12.9%	-9.7 3.2
(3) 販売価格	0.0%	5.3%	-5.3 0.0	10.5%	10.5%	0.0 10.5	5.3%	7.9%	-2.6 5.3
(4) 取引条件	0.0%	0.0%	0.0 0.0	0.0%	5.3%	-5.3 -5.3	0.0%	2.6%	-2.6 -2.6
(5) 収益状況	0.0%	42.1%	-42.1 -10.6	10.5%	42.1%	-31.6 -26.3	5.3%	42.1%	-36.8 -18.4
(6) 資金繰り	0.0%	36.8%	-36.8 5.3	0.0%	26.3%	-26.3 -10.5	0.0%	31.6%	-31.6 -2.7
(7) 設備操業度	15.8%	26.3%	-10.5 5.3						
(8) 雇用人員	10.5%	5.3%	5.2 0.0	5.3%	10.5%	-5.2 5.3	7.9%	7.9%	0.0 2.6
(9) 景 況	0.0%	52.6%	-52.6 5.3	5.3%	47.4%	-42.1 -10.5	2.6%	50.0%	-47.4 -2.7

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	15.8%	42.1%	-26.3 0.0	15.8%	63.2%	-47.4 -21.1	15.8%	52.6%	-36.8 -10.5
(2) 在庫数量	0.0%	15.8%	-15.8 -5.3	0.0%	16.7%	-16.7 0.0	0.0%	16.1%	-16.1 -3.2
(3) 販売価格	5.3%	10.5%	-5.2 0.0	21.1%	21.1%	0.0 -5.3	13.2%	15.8%	-2.6 -2.6
(4) 取引条件	0.0%	0.0%	0.0 0.0	0.0%	10.5%	-10.5 -5.2	0.0%	5.3%	-5.3 -2.7
(5) 収益状況	5.3%	36.8%	-31.5 10.6	10.5%	47.4%	-36.9 -5.4	7.9%	42.1%	-34.2 2.6
(6) 資金繰り	0.0%	36.8%	-36.8 0.0	0.0%	26.3%	-26.3 -10.5	0.0%	31.6%	-31.6 -5.3
(7) 設備操業度	26.3%	21.1%	5.2 15.7						
(8) 雇用人員	21.1%	10.5%	10.6 -5.2	5.3%	15.8%	-10.5 0.0	13.2%	13.2%	0.0 -2.6
(9) 景 況	0.0%	47.4%	-47.4 10.5	10.5%	42.1%	-31.6 10.5	5.3%	44.7%	-39.4 10.6

* D I とは、ディフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

* D I 欄下段は、今月調査 D I（上段）から前月調査 D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ 原材料価格の上昇、人件費の増加により収益状況の圧迫を懸念している。

醤 油⇒ 年末のため、味噌、醤油の出荷量は前月比で増加したが、前年同月比では不変。その他は特に変化はない。

【繊維・同製品】

婦 人 服⇒ 受注単価が上がらない中であって、最低賃金引上げによる人件費上昇により収益状況は厳しい。暖冬の影響で、今年は特に重衣料の動きが悪い。期中の追加生産の受注もない。

ニット製品⇒ 年末の衣料品小売は引き続き不振が続いている。暖冬の影響で、重衣料に限らず、カジュアルのニット衣料も売上不振が続いている。2020年春夏物商品の販売に対しても弱気な予想。

【家具装備品】

⇒ 売上高は、前月比で不変、前年同月比で減少。市況は買い控え空気があり低調。中小企業には苦しい時代。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量、製材品の生産量はともに前月比で不変。合板の生産量は前月比でわずかに減少。原木は降雪もなく比較的順調に出てきている。建築需要は少ない時期でもあり春需要の準備を進めている。プレカット加工の稼働率は、前月比15%減少、前年同月比30%増加となった。

【紙・加工品】

和 紙⇒ 需要期が終わり、売上高は、前月比で減少し低調に推移。特に上級の品種が減少している。前年同月比では不変。

【印 刷】

⇒ 1月下旬から年度末までは多忙を極めるのが通例であり、年度末を何としても凌がなければならないのがこの業界の宿命。納期厳守と品質確保が至上命題。来年度は、働き方改革の一環で少し計画的に生産できる可能性もある。用紙の他に、インク・段ボールなどの資材の値上げもある。価格へ転嫁しないと収益・資金繰りに影響が出る。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 12月の生コン出荷量は、前年同月比で106%。地区別の出荷状況は、東部地区は103%で実績は上回ったものの、大型物件も少なく厳しい状況。中部地区は106%でプラスを示すも、大型物件がなく大変厳しい。西部地区は111%で受注残はあるものの5月以降厳しい状況が続いていたが、ようやく前年並みとなってきた。今後の受注残から若干の明るさが見られる。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、足元の物件は少なく、仕事量が減っている事業所が多くなっているが、春以降の物件に向け危機感は薄い。機械加工は、引続き自動機関連が厳しい。金型関係は、当面の仕事を確認できている事業所もある。

鉄骨加工⇒ 高力ボルト不足については納期4カ月～7カ月程度と少しずつではあるが改善している。各事業所とも年度内の仕事は確保しており来年度に向けての受注活動に入っている。小型物件については年度内の建方案件もまだあり対応が出来る事業所が少なくなっている。

【一般機械器具】

⇒ 受注状況は10月頃から徐々に下降してきているが、12月は前月比で不変。前年同月比では、明らかに景気は低迷してきている。原因が米中貿易摩擦に始まり消費増税の影響もある。特に電気電子部品関係の低迷は顕著である。そのような中であって自動車部品、建機関係で受注を維持している企業も一部見受けられる。今後の見通しについても良い材料は少なく、中東の情勢によりエネルギー価格の上昇が見込まれ、ものづくり企業には不利な状況である。

【電気機械器具】

⇒ 米中貿易摩擦の影響緩和が感じられ徐々に生産が回復している製品も出てきたが、引き続き厳しい状況。人員確保も依然厳しい。また部材調達の問題で納期調整に手間がかかる。さらに見通しは予測ができない等不安材料は多い。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 青果関係では、売上高は前月比で増加、前年同月比で減少。温暖化の影響もあり、野菜部門で厳しい状況。鮮魚関係では、売上高は前月比で増加、前年同月比で減少。消費者の魚離れも影響しており、鮮魚全般厳しい状況。

中部地区⇒ 来年1月のWindows7サポート終了までは、パソコン需要はあり、売上に貢献している。

西部地区⇒ FCチェーン店や大型店の出店により、取引先への影響が深刻となっている。また直売の流れが進むなか、卸売業が淘汰されつつある。

水産物⇒ 巻き網漁はワラサ・ツバス等の水揚げは前年度並みであったもののアジ・イワシ・サバ類の水揚げはほぼ皆無となり、結果、年間水揚げも昨年の26%減少となった。近海における松葉ガニは比較的順調な水揚げであるも、漁獲規制強化のため需要に水揚げが追いつかず高値安定で推移。ベニズワイガニ漁は昨年の高値嫌気から、また消費の落ち込みもあり安定した相場で推移した。

リサイクル原料⇒ 国内鉄スクラップ市況は、堅調様子見の推移を続けた。国内電炉メー

カー各社は減産を実施し、鉄スクラップの需要は減少しているものの市中スクラップの発生、荷動きに勢いが無い。古紙市況は、輸出需要の減退による荷余りに伴い市中価格も下落基調が続いている。非鉄市況は、最安値が続いている。

【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 鳥取市の商店街では、市役所本庁舎移転に伴い、街区通行量が減少し売上減少に繋がっている。消費税増税による消費マインドの低下がみられる。宿泊関連は観光客も多く好調を維持。キャッシュレス対応については、現金仕入れをしている事業者にとってはキャッシュフローも悪く苦慮している。

中 部 地 区⇒ 倉吉市の商店街では、年末商戦も静かな落ち着いた月となった。倉吉市役所第2庁舎の1月業務開始に合わせて、職員の昼食をターゲットにした飲食店のオープンが数店舗あり、商店街が少しずつ賑わっている。商店街でも、市役所の業務開始に合わせて、ウインターセールを企画し、PRに努める。

西 部 地 区⇒ 米子市の商店街では、12月7日から22日まで、本通り商店街と元町サンロードで、歳末売出し「歳の市」が開催され、最終日には「もちつき大会」を開催し、無料でぜんざいを振舞うなど、多くの来街者で賑わった。

境港市の水産物小売は、松葉ガニの水揚げが始まってから、一気に来客数が増加。親ガニの価格が漁獲量の減少に伴い前年に比べ4～5割高かったが、年々全国的に需要が高まっている。ギネス記録にも認定された1尾500万円の高値が付いたことも鳥取の松葉ガニのPRに大きく貢献している。例年年末商戦は12月30日・31日がピークになるのだが、2019年は28日・29日が土日と、曜日の巡り合わせによりピークが前倒しになり来場者の増加にもつながった。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、12月7日に「鳥取砂丘イリュージョン」がオープンしたが、開催期間中の観光客は、例年に比べ大幅に減少し低調であった。月末にかけて団体カニツアーが好調で観光客が増加した。売上高は、前月比、前年同月比ともに減少し収益状況は悪化した。

米子市のホテル・旅館では、12月は忘年会シーズン等であるが、前月比では、宿泊客、日帰客ともに大幅に減少し、売上高は減少。シーズン中であり販売価格は上昇したが、収益状況は悪化した。前年同月比では、忘年会の減少により、売上高は減少、収益状況も悪化した。大手旅行会社、インターネット等の予約状況が団体客を中心に減少しており、景況は悪化。また人手不足も深刻な課題となっている。

三朝温泉では、売上高は、前月比で増加、前年同月比で不変。人手不足が顕著となっている。

大山では、暖冬の影響による雪不足もあり、売上高は、前月比、前年同月比ともに減少した。

【自動車整備業】

⇒ 乗用車の新車販売実績は、普通自動車で前月比11%減少、前年同月比17%減少。軽自動車は前月比13%減少、前年同月比19%減少。貨物自動車は、前月比11%減少、前年同月比25%減少、軽貨物自動車は前月比20%減少、前年同月比14%減少。12月の新車販売台数は前月比で10%以上、前年比では約15%以上の減少、中古車の新規検査、継続検査は前月比では小幅（平均3%）に減少している。消費税増税の影響が続いており、しばらくの間は続く予想。

【建設業】

⇒ 12月の県内公共工事实績は、前年同月比、請負金額で大幅増となり、年度累計においても前年同期比で件数・金額ともに増加となった。設備投資も堅調推移、住宅投資では弱含んだ実績となっている。技術者、下請けなど人手不足の影響は、ダンプの手配や誘導員確保にもおよび、災害復旧工事等の不落札が続くなど影響が深刻化している。

前払金保証取扱から見た県下公共工事の動向（12月）は、件数136件（前年同月比2%減）、請負金額93億円（同86%増）となった。請負金額地区別状況（12月末累計）は、東部地区（前年対比26%増）、八頭地区（同26%減）、中部地区（同117%増）、西部地区（同74%増）、日野地区（39%増）となった。

11月の鳥取県新設住宅着工戸数は209戸（持家149戸、貸家60戸）で、前月比29%増加、前年同月比では10%減少となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 製造業などの物量は減少し、農産物の出荷量も低調で年末ではあるが物流はよくなかった。復路荷物の情報も減少し、空車で帰る車両もみられ運行効率の悪い状況もあった。売上高は、前月比、前年同月比ともに減少傾向で、燃料価格が引き続き値上がりして収益状況に影響が出始めている。

西部地区⇒ 暖冬の影響で冬物商品の輸送量は落ち込んだ。年末年始の季節需要は例年通り、飲料、食品などを中心に輸送量は増加、往路復路ともに車両不足に陥った。原油価格は高値で推移したままであり、米中貿易摩擦は一旦緩和すると考えられ、OPECとロシアなどの原油産油国の協調減産が今後も続き、円の為替レートも110円を伺う勢いのまま年末を迎えている。この原油高が続くようであれば、荷主企業の物流にも当然影響が出るものと予測される。人手不足など喫緊の課題は山積のまま、人工知能の活用で生産性向上に結び付けようにも中小事業者にはコスト面など課題もある。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・複合施設「打吹回廊」の店舗が埋まるよう支援頂きたい。（商店街）

最近の指標の前月比D I の推移

		2018年	2019年												前年との 増減幅
		12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
売上高	製造業	26.3	-36.8	26.3	15.8	0.0	-26.3	5.3	0.0	-26.3	15.7	-10.5	-21.0	-21.0	-47.3
	非製造業	5.2	-42.1	5.2	26.3	10.5	0.0	-36.8	15.7	5.2	-5.3	-15.7	-15.7	-26.3	-31.5
	全業種	15.8	-39.4	15.8	21.0	5.2	-13.1	-15.8	7.9	-10.5	5.3	-13.2	-18.4	-23.7	-39.5
在庫数量	製造業	-10.5	-10.5	-15.8	0.0	-10.5	-15.8	-15.8	-10.5	0.0	-15.8	-21.1	-10.5	-5.2	5.3
	非製造業	8.3	-16.7	-8.4	0.0	0.0	-16.7	8.4	-8.3	-8.4	0.0	0.0	-16.7	-16.7	-25.0
	全業種	-3.2	-12.9	-12.9	0.0	-6.5	-16.2	-6.4	-9.6	-3.2	-9.7	-12.9	-12.9	-9.7	-6.5
販売価格	製造業	10.5	10.5	5.3	0.0	5.3	0.0	-5.3	5.3	0.0	5.3	-10.5	-5.3	-5.3	-15.8
	非製造業	21.2	-26.3	-15.8	-10.6	-5.3	10.5	-15.8	10.5	10.6	-5.3	-5.3	-10.5	0.0	-21.2
	全業種	15.8	-7.9	-5.2	-5.2	7.9	5.3	-10.5	7.9	5.3	0.0	-7.9	-7.9	-2.6	-18.4
取引条件	製造業	0.0	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-5.3	-5.3	-10.5	0.0	0.0	0.0
	非製造業	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-5.3	-5.3	-5.3	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0	-5.3	5.2
	全業種	-5.3	-7.9	-5.3	-5.3	-2.6	-2.6	-2.6	2.6	0.0	-2.6	-5.3	0.0	-2.6	2.7
収益状況	製造業	0.0	-26.3	-5.2	0.0	-15.8	-10.5	-15.8	-31.5	-31.6	-21.0	-26.3	-31.5	-42.1	-42.1
	非製造業	5.3	-31.5	0.0	15.8	5.3	0.0	-26.3	5.3	-5.2	-10.6	-10.5	-5.3	-31.6	-36.9
	全業種	2.7	-29.0	-2.6	7.9	-5.3	-5.3	-21.1	-13.2	-18.4	-15.8	-18.4	-18.4	-36.8	-39.5
資金繰り	製造業	5.3	-10.5	0.0	5.2	-10.5	-10.5	-26.3	-10.5	-26.3	-15.8	-15.8	-42.1	-36.8	-42.1
	非製造業	0.0	-15.8	-10.5	0.0	10.5	0.0	-21.1	0.0	0.0	-10.5	-15.8	-15.8	-26.3	-26.3
	全業種	2.6	-13.2	-5.3	2.6	0.0	-5.3	-23.7	-5.2	-13.1	-13.2	-15.8	-28.9	-31.6	-34.2
設備操業度	製造業	15.8	-21.0	10.5	15.8	5.3	-10.5	5.3	-15.8	-21.1	0.0	-15.8	-15.8	-10.5	-26.3
雇用人員	製造業	5.3	-5.3	0.0	10.5	10.5	-5.2	5.2	0.0	5.2	0.0	-10.5	5.2	5.2	-0.1
	非製造業	0.0	-31.6	-5.3	-5.2	10.5	5.2	-5.2	0.0	15.8	-5.2	-5.3	-10.5	-5.2	-5.2
	全業種	2.6	-18.4	-2.6	2.6	10.6	0.0	0.0	0.0	10.6	-2.6	-7.9	-2.6	0.0	-2.6
景況	製造業	0.0	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-15.8	-36.8	-31.6	-21.1	-31.5	-57.9	-52.6	-52.6
	非製造業	-21.0	-21.0	-26.3	-15.8	-5.3	-21.0	-47.4	-26.3	-26.3	-42.1	-26.3	-31.6	-42.1	-21.1
	全業種	-10.5	-21.1	-18.4	-13.2	-7.9	-15.8	-31.6	-31.6	-28.9	-31.5	-28.9	-44.7	-47.4	-36.9

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2018年	2019年												前年との 増減幅
		12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
売上高	製造業	-21.0	-10.5	21.0	-36.9	-5.3	-36.9	-21.0	-26.3	-15.8	-31.6	-36.8	-26.3	-26.3	-5.3
	非製造業	5.3	10.5	26.3	0.0	0.0	-36.8	-47.3	10.5	-15.7	-21.0	-15.8	-26.3	-47.4	-52.7
	全業種	-13.1	0.0	23.7	-18.4	-2.7	-36.8	-34.2	-7.9	-15.8	-26.3	-26.3	-26.3	-36.8	-23.7
在庫数量	製造業	-10.5	-21.1	-15.8	-15.8	-15.8	-26.3	-21.1	-10.5	-10.5	-21.0	-26.3	-10.5	-15.8	-5.3
	非製造業	-8.4	0.0	25.0	-8.4	0.0	-25.0	-8.4	8.4	-25.0	-8.4	-16.7	-16.7	-16.7	-8.3
	全業種	-9.6	-12.9	-19.4	-12.9	-9.6	-25.8	-16.2	-3.2	-16.1	-16.1	-22.6	-12.9	-16.1	-6.5
販売価格	製造業	0.0	10.5	10.6	10.5	5.2	10.5	5.3	10.5	0.0	5.2	-10.5	-5.2	-5.2	-5.2
	非製造業	5.2	-15.8	5.3	10.6	21.1	15.8	-10.5	10.5	15.8	-10.5	-5.3	5.3	0.0	-5.2
	全業種	2.6	-2.7	7.9	10.5	13.2	13.1	-2.7	10.5	7.9	-2.6	-7.9	0.0	-2.6	-5.2
取引条件	製造業	-10.5	-5.3	0.0	-5.3	-5.3	0.0	0.0	5.3	-5.3	-5.3	-10.5	0.0	0.0	10.5
	非製造業	-5.3	-15.8	-10.5	-10.5	0.0	0.0	-5.3	5.3	5.3	-5.3	0.0	-5.3	-10.5	-5.2
	全業種	-7.9	-10.5	-5.3	-7.9	-2.7	0.0	-2.7	5.3	0.0	-5.3	-5.3	-2.6	-5.3	2.6
収益状況	製造業	-26.3	-26.3	-26.3	-21.1	-15.8	-26.3	-21.0	-21.1	-31.6	-31.6	-42.1	-42.1	-31.5	-5.2
	非製造業	5.2	-5.3	5.3	-5.2	5.3	-31.6	-36.8	10.6	-31.5	-15.8	-15.7	-31.5	-36.9	-42.1
	全業種	-10.5	-15.8	-10.6	-13.1	-5.2	-28.9	-28.9	-5.3	-31.6	-23.7	-28.9	-36.8	-34.2	-23.7
資金繰り	製造業	-10.5	-5.3	-15.8	-15.8	-21.1	-21.1	-31.6	-10.5	-26.3	-26.3	-26.3	-36.8	-36.8	-26.3
	非製造業	-5.3	-10.5	-5.2	-15.8	5.2	-5.2	-10.5	5.3	-5.3	5.2	-10.5	-15.8	-26.3	-21.0
	全業種	-7.9	-7.9	-10.6	-15.8	-7.9	-13.2	-21.1	-2.7	-15.8	-10.5	-18.5	-26.3	-31.6	-23.7
設備操業度	製造業	15.8	0.0	10.5	-21.1	21.0	-5.3	5.3	-21.1	-15.8	-10.5	-15.7	-10.5	5.2	-10.6
雇用人員	製造業	-5.2	-5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	10.5	5.3	10.6	15.8	10.6	15.8
	非製造業	0.0	-15.8	-10.5	-15.8	5.2	-10.5	-15.8	-15.8	-10.5	-10.5	-5.2	-10.5	-10.5	-10.5
	全業種	-2.6	-10.6	-5.3	-7.9	2.7	-5.3	-5.2	-7.9	0.0	-2.7	2.7	2.6	0.0	2.6
景況	製造業	-10.6	-10.5	-10.5	-42.1	-21.0	-15.8	-31.6	-26.3	-31.6	-31.6	-47.4	-57.9	-47.4	-36.8
	非製造業	-15.8	-15.8	-21.0	-21.1	-5.3	-15.8	-36.8	-21.0	-16.8	-31.5	-26.3	-42.1	-31.6	-15.8
	全業種	-13.2	-13.1	-15.8	-31.5	-13.2	-15.8	-34.2	-23.7	-34.2	-31.6	-36.8	-50.0	-39.4	-26.2

情報連絡員報告総括表(令和元年12月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回 答 数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況				
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化		
製造業	食料品	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0		
	繊維・同製品	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	2	1	
	木材・木製品	0	1	3	0	3	1	0	4	0	0	4	0	0	2	2	0	2	0	2	2	0	4	0	0	1	3		
	紙・紙加工品	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1		
	出版・印刷	1	0	1	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	0	2	1	0	1	1	0	1	0	0	2	
製造業	化学ゴム																												
	窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1		
	鉄鋼・金属	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	2	0	0	1	1		
	一般機器	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	3	0	3	0	0	2	1		
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	
非製造業	輸送用機器																												
	その他																												
	卸売業	19	4	7	8	1	16	2	0	18	1	0	19	0	0	11	8	0	12	7	3	11	5	2	16	1	0	9	10
	小売業	100%	21.1%	36.8%	42.1%	5.3%	84.2%	10.5%	0.0%	94.7%	5.3%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	57.9%	42.1%	0.0%	63.2%	36.8%	15.8%	57.9%	26.3%	10.5%	84.2%	5.3%	0.0%	47.4%	52.6%
	商店街	2	3	1	0	4	2	1	4	1	0	6	0	1	3	2	0	5	1				0	6	0	0	4	2	
非製造業	サービス業	0	1	4				1	4	0	0	5	0	0	2	3	0	3	2				0	4	1	0	1	4	
	建設業	0	1	0				0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0	
	運輸業	0	1	1				0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0				0	2	0	0	1	1	
	その他																												
	その他	19	3	8	8	0	9	2	2	15	2	0	18	1	2	9	8	0	14	5			1	16	2	1	9	9	
100%		15.8%	42.1%	42.1%	0.0%	75.0%	16.7%	10.5%	78.9%	10.5%	0.0%	94.7%	5.3%	10.5%	47.4%	42.1%	0.0%	73.7%	26.3%				5.3%	84.2%	10.5%	5.3%	47.4%	47.4%	
	38	7	15	16	1	25	4	2	33	3	0	37	1	2	20	16	0	26	12	3	11	5	3	32	3	1	18	19	
100%		18.4%	39.5%	42.1%	3.2%	80.6%	12.9%	5.3%	86.8%	7.9%	0.0%	97.4%	2.6%	5.3%	52.6%	42.1%	0.0%	68.4%	31.6%	15.8%	57.9%	26.3%	7.9%	84.2%	7.9%	2.6%	47.4%	50.0%	

情報連絡員報告総括表(令和元年12月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回 答 数 38(100%)

1-2 業界の景気動向(前年同月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備稼働度			雇用人員			業界の景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
製 造 業	食料品	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0
	繊維・同製品	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	2	0	1	2	0	1	2	0	0	2	1
	木材・木製品	1	0	3	0	2	2	1	2	1	0	4	0	1	1	2	0	3	1	2	1	1	0	3	1	0	1	3
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	出版・印刷	1	0	1	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	0	2	1	0	1	1	0	1	0	0	2
	化学ゴム																											
業	窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1
	鉄鋼・金属	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	0	1	1	1	1	1	0	0	1	1
	一般機器	0	1	2	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	2	1	1	2	0	0	2	1
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	輸送用機器																											
	その他																											
非 製 造 業	卸売業	0	1	5	0	4	2	1	3	2	0	6	0	0	4	2	0	5	1	26.3%	52.6%	21.1%	0	6	0	0	4	2
	小売業	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0.0%	63.2%	36.8%	1	0	0	1	0	0
	商店街	0	2	2	0	4	0	0	3	1	0	3	1	0	2	2	0	2	2	0.0%	63.2%	36.8%	0	3	1	0	2	2
	サービス業	0	1	4				1	3	1	0	4	1	0	1	4	0	3	2	26.3%	52.6%	21.1%	0	4	1	0	2	3
	建設業	1	0	0				1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0.0%	63.2%	36.8%	0	1	0	0	1	0
	運輸業	1	0	1				1	1	0	0	2	0	1	0	1	0	2	0	26.3%	52.6%	21.1%	0	1	1	1	0	1
業	その他																											
	19	3	4	12	0	9	2	4	11	4	0	17	2	2	8	9	0	14	5	26.3%	52.6%	21.1%	1	15	3	2	9	8
	100%	15.8%	21.1%	63.2%	0.0%	75.0%	16.7%	21.1%	57.9%	21.1%	0.0%	89.5%	10.5%	10.5%	42.1%	47.4%	0.0%	73.7%	26.3%	0.0%	63.2%	36.8%	5.3%	78.9%	15.8%	10.5%	47.4%	42.1%
	卸売業	0	1	5	0	4	2	1	3	2	0	6	0	0	4	2	0	5	1	26.3%	52.6%	21.1%	0	6	0	0	4	2
	小売業	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0.0%	63.2%	36.8%	1	0	0	1	0	0
	商店街	0	2	2	0	4	0	0	3	1	0	3	1	0	2	2	0	2	2	26.3%	52.6%	21.1%	0	3	1	0	2	2